

2017年(平成29年)11月15日(水) 第17回 例会 (通算2769回)

国際ロータリー 第2580地区

(今月のロータリーレート:1ドル114円)

石垣ロータリークラブ週報 No. 2640

会長: 大浜 一郎 副会長: 遠藤 正夫 幹事: 宮城 早人 副幹事: 池城 貞光



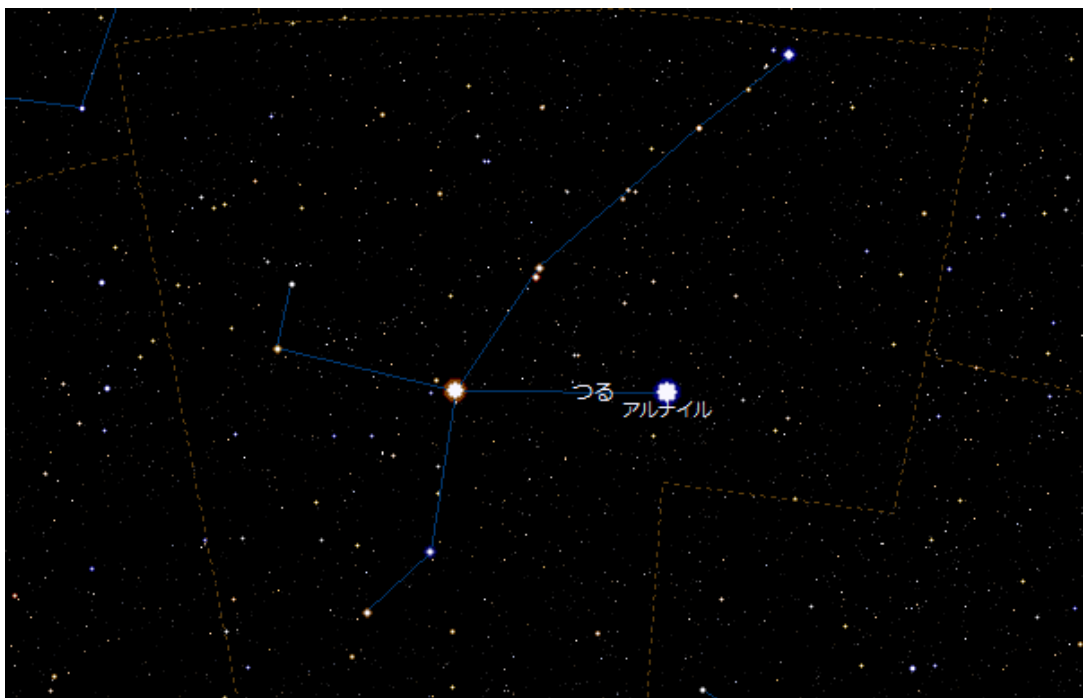
RI 会長:
イアン H. S. ライズリー

ロータリー:
変化をもたらす

地区ガバナー: 吉田 雅俊氏「感動と調和」

●クラブテーマ「絆とおもいやり」

例会日 水曜日 12:30~13:30
例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4
TEL/FAX(0980)83-2917
http://ishigaki-rotary.jimdo.com
E-mail ishirotary@ninus.ocn.ne.jp



◎つる座
秋の夜空、南の地平線近くに見える星座。翼を広げた鶴の姿で描かれている星座で、比較的明るい星で構成され、形も特徴的で見つけやすい。日本のほとんどの地域では南の低い空にある為、なかなか見つけることができないが、八重山では特徴的な全体の姿を見ることが出来る。

11月8日(水)第16回(通算2768回)例会報告

<司会進行> 我那覇 宗広

ロータリーソング・「手に手つないで」「四つのテスト」

ソングリーダー・・・大城 文博

ゲスト・・・ヒラリー・タワー氏(沖縄米国領事館政治軍事経済担当)

林 明德氏(〃 政治担当専門官)

メイクアップ・・・我那覇宗善・仁開 一夫・佐久本 達

南波 正幸・小底 厚子・今西 敦之

出席報告

会 員 総 数	41名
出席 義務 会員	40名
出 席 数	25名
欠 席 数	15名
出 席 率	62.50%
通算出席率(11月)	66.25%



本日のこころ

- ・先日、46 才になりました。今後とも宜しくお願い致します。(佐藤 智博)
- ・宮良幸男さん、日本食品衛生協会会長表彰、おめでとうございます。(大浜 一郎)
- ・ヒラリーさん、今日は卓話ありがとうございます。(大浜 一郎)
- ・11 月は誕生月、おかげさまで元気です。感謝!何才?(宮良 榮子)
- ・ヒラリーさん、ご講話、誠にありがとうございました。(宮城 早人)
- ・昨日、3 男が誕生しました。これで子ども 5 人、7 人家族になりました。家族共々宜しくお願いします。(宮城 早人)

BOX	¥ 2,000	(累計¥73,000)
コイン	¥ 2,727	(累計¥41,323)
合 計		¥114,596

会長挨拶：大浜 一郎



暦の上では立冬という事ですが、いつもの11月より暑いですね。当社も11月1日が衣替えなのですが、誰も衣替えしようとしないので、今日、かりゆしを着てきました。新聞紙を見ると、今日は来ていらっしゃらないですが、宮良幸男さんが全国食品衛生協会会長賞を頂いたようで、本当におめでとうございます。会員の皆さんが表彰され、新聞に載っているというのは非常にいいですね。ぜひ各職場で色々な賞があった時には喜びを分かち合ってくださいと思います。

さて、昨今の話題としては、トランプ大統領が来日をして、2日間日本に滞在し、それから韓国へ、今日は中国に行っているようですが、そういうホットな日米の会談があったという所での、今日の総領事館の卓話という事で、非常にタイミングも良かったのかなと思います。

林さんは八重山出身で、八重山の農業の発展に寄与された林発大先生のお孫さんに当たります。ヒラリーさんとは一昨日、昨日と一緒に。血筋の中には伝秀夫さんの血が入っているという事です。非常に演歌が好きで、フレンドリーな方です。この前、一緒に食事会させていただきましたが、一人は米国籍の台湾人、1人はインド系、そして伝秀夫の血が入っているヒラリーさん、そして僕、色々な国籍と色々な形、それが皆繋がっているんです。皆幼いころから繋がっているんで、人の繋がりというのは非常に面白いし、こうやって人と知り合う事で色々な所に、色々な事が広がっていくんだなと、皆さん本当に頑張っていられる方々で、非常に楽しい食事会ができたなと思います。

今日は総領事、前回までは英語しかしゃべれない担当官でしたが、今回は日本語ペラペラですので、今日は総領事官の仕事の内容とか、色々な考え方とか、そういったものを勉強するいい機会になればいいなと思っていますので、最後までよろしくお願いします。

幹事報告：宮城 早人

地区大会の登録のお願いが届いておりまして、2月20日・21日、会場が新宿京王プラザホテルです。それから皆さんの各テーブルにあります、日台親善会

議の旅行日程が2案出ております。これを基に調整を図っていきたくと思います。3月3日が十六日祭になっておりますので、ご注意くださいと思います。今回の日程でも3月3日には帰ってくる予定になっておりますので、よろしくお願ひします。それから1月4日、アートホテル石垣島で石垣市主催の初春の交歓会のチケットが届いております。会費は3,000円です。事務局にてご購入お願ひ致します。

ゲスト卓話：ヒラリー・ダウアー氏

沖縄米国総領事館 政治軍事経済担当



テーマ「在沖米国総領事館」



皆様こんにちは。自己紹介をさせていただきます。在沖縄米総領事館で軍事政治経済を担当しているヒラリー・ダウアーと申します。まずはアメリカの姓名を言いましたが、父方の祖父は日本人なので、日本語の姓名もあります。渡辺千里と言います。

祖父は物理学者として、戦争の時に日本の原爆研究に参加しました。それから日本人の叔父がガダルカナル島の戦場で亡くなりました。もう1人の叔父は特攻隊に入り、18日出発する予定でした。

(15日に終戦)その一方、アメリカ人の祖父は衛生兵としてビルマで戦いました。なぜこの話をしたかということ、戦後に築いてきた揺るがない日米同盟は抽象的な事ばかりでなく、ある意味、自分の存在が同盟の成功の一部ではないのかと、個人的に痛感しています。私の現在のポストは私にとって、一般的な仕事ではなく、むしろ義務だと心に感じています。従って、現在の日米同盟を軸にしている沖縄で、県民の皆様と共に頑張りたいと思っています。

軍事政治の部分についてお話ししたいと思います。まず軍事の影響は本島には最も大きいと思

ます。例えば政治的な展望は米軍基地に関係することが多いです。その中でも基地が沖縄本島の18%を占有しています。これはご存知の通り、これまでの摩擦点かもしれません。また最も大きい話題は普天間基地で、普天間代替施設がアメリカや日本、軍、国務省でも最も大きい優先事項だと思っています。これが順調に進めば進むほど日米同盟が、もっと強い足腰になると思います。

大きな基地は沖縄本島に3つあります。普天間基地（海兵隊の基地）、それから嘉手納基地（空軍の基地）、もう1つはキャンプシュワブです。キャンプシュワブは今、普天間代替施設として造っています。目的は普天間基地をキャンプシュワブに移動するつもりです。でもそればかりではなく、他の返還が様々あります。沖縄県には142万人が住んでいますが、嘉手納から糸満までには110万人くらいが住んでいるという計算があります。ですから、南にある基地をなるべく早く、本島の北部に移動する必要があるという事について、アメリカと日本が一致していました。しかし山ほど小さな基地がありますので、それをどう合併して北部に移動するかは難しいと思います。

それに加えて、事件事故、防音の苦情、私と林さんはそれを県民から受けております。私は8月14日に来て、ほぼ毎週抗議を受けています。総領事館で県議会や市長、市議会、町議会、よくいらしてオスプレイに関して、あるいは騒音に関して、あるいはパラシュート訓練について、抗議をおっしゃいます。私は中東に住んでいたことがありますので、沖縄での抗議はやさしいと思います。中東とかイスラム社会では、人が大使館の前に並んで石を投げたりとか、暴力行為がありました。だから沖縄に来て、抗議なんですけど、やっぱり意見交換だと思っています。ある所には基地を反対する傾向がありますが、本当に反米の人は今まで見た事ありません。

その3つの問題が私と林さんの主な仕事です。移設をなるべく早く実現するために米軍をサポートしています。もちろん主な交渉は米軍と防衛局の交渉です。その交渉をなるべく円滑にしてもらうために、私たちはできるだけ手をかしています。それから普天間移設、それとその抗議を受けています。もちろん八重山には米軍基地がないので、その3つの問題は全くないでしょう。基地がないと移設という問題もないし、それに加えて事件事

故騒音というような問題が全くありません。しかし八重山は1つの地元のパートナーとして、もっと日米の協力をさせて頂きたいと思います。例えば、英語、人材育成は総領事館と大使館の1つの大きな目的です。1つの例を挙げると、離島でも英語の能力を改善できれば、総領事館の私たちはとてもうれしく思います。このような事業について皆様と協力させて頂きたいと思います。

次に経済の事に触れたいと思います。大使は8月に来日しました。3つの目的があります。1つは日本と連携を取って、北朝鮮からの脅威に対応する事です。それは政治、安全保障の分野です。残りの2つの目的は経済的な目的です。1つはアメリカが日本への輸出量をどうしても拡大させたいという事があります。もう1つは日本がアメリカに直接的な投資を、それも進めて行きたいという狙いもあります。この2つの経済的な目的がありますので、八重山の皆様からアメリカと八重山の経済面を改善するアイデアとか提案があれば、協力したいと思います。

最後に、これは世界どこでもそうですが、アメリカの総領事館、大使館がアメリカ人を助けるとか、手伝える事は重要な目的です。もちろん沖縄本島の軍および外国移住者のコミュニティーへのアメリカ市民サービスも提供しています。沖縄本島には軍人とその家族がおよそ5万人、その他のアメリカ人がだいたい3万人、合計でだいたい8万人います。総領事館の1つの重要な義務は、そのアメリカ人をなるべくサポートしています。例えばそのアメリカ人が沖縄に生まれたら、総領事館がこの県に生まれた事があるという事を登録します。あるいはパスポートを作るとか、もし米兵が県民と結婚したらそのビザを発行したりします。

もう1つ、特に本島ではマスコミとの関係が難しいと思います。良いニュースが掲載されるのはまれであります。これは残念ですが、大きな壁になります。総領事と大使館もこのカベをどう避けるかがよく悩んでいます。出来るだけソーシャルメディア等を使おうとしていますが、それはまだちょっと大きいチャレンジだと思っています。

最後、西洋にあることわざですが、一人ひとりが、目が見えないままに象の一部に触れて、触れているものが何なのかという事について、1人は木だと思って、もう1人は壁だと思って、いや縄だと思ふ。同じものに触れても、別のものだと考

えています。それはアメリカと、特に沖縄にある米軍の存在です。ある意

味ではやっぱり経済の影響を伝えているし、それに加えて政治的な影響を伝えているし、それに加えて安全保障の影響を発信しているとか、あとは社会的な影響も伝える場合もあります。ご清聴をありがとうございます。

ゲスト：林 明德氏

私は生まれも育ちも石垣で、石中に1学期まで行っていました。その後マリストに行きまして、大学はアメリカに行って、日本に戻って仕事をして、実は28年くらい前は南西グランドホテル時代の時に、ここで仕事をしておりました。その後那覇へ移りまして、琉球銀行の国際部で仕事をした後、14年前からアメリカ総領事館で勤務をしています。先ほど領事からも謝罪ポストだとおっしゃっていましたが、私は地元のスタッフとして、県民の皆さんがどう訴えているか、どう考えているかという事を、外交官の皆様、そしてアメリカ政府に伝えられるよう、毎日苦悩しながら日々の仕事をこなしています。また離島出身として、離島の事情も知ってもらいたいと思ひまして、年に1度は宮古、石垣、与那国まで足を伸ばしております。先ほどありました英語教育への協力とか、あるいは国際的な感覚を子供達に持ってもらうためのお手伝いという事で、実は地元の高校とか中学校、小学校へ行って、英語教育のお手伝いをしたり、アメリカとはどんな国であるとか、そういった事をやっております。もし皆さんの方でアメリカの文化なり、あるいはアメリカに行く前に情報がほしいというような事があれば、連絡いただければお手伝いさせていただきますので、今後ともよろしくお願い致します。

HAPPY BIRTHDAY

★ 上原 秀政氏(1954年11月17日)

★ 森田 安高氏(1962年11月19日)

例会風景



領事に同行された石垣出身の林さん



貴重なお時間を、ありがとうございました。